

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 26 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 10 回



- ◇平成 26 年 8 月 2 日（土） 9:00～14:30
- ◇参加者 江別市内小学生 4 年生～6 年生（公募による参加者）
児童 18 名 江別市役所 3 名 計 21 名

【学習コース】弁天丸江別コース（江別河川防災ステーション→新石狩大橋往復）

【学 習 行 程】

時 刻	学 習 内 容	
	1 班	2 班
9:00～9:30	受付、スケジュール説明、注意事項伝達、健康チェックなど	
9:30～10:30	E ボート乗船体験	川やダム、排水機場の 仕組み学習
10:30～11:30	川やダム、排水機場の 仕組み学習	E ボート乗船体験
11:30～12:30	昼食、休憩	
12:40～13:25	弁天丸乗船（船上から川を観察）	江別のまちと川の歴史学習 川の仕組み学習（川の模型使用）
13:30～14:15	江別のまちと川の歴史学習 川の仕組み学習（川の模型使用）	弁天丸乗船（船上から川を観察）
14:20～14:30	アンケート記入、おわりの会	

【学習内容】

◇弁天丸

- 1.船上から石狩川の大きさを体感
- 2.川や鳥、植物などの自然を観察
（ショウドウツバメの巣観察）
- 3.王子製紙の取水口と水利用を学ぶ
- 4.カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習

◇江別河川防災ステーション

- 1.江別のまちと石狩川の歴史学習
- 2.生活や産業に欠かせない水
- 3.江別のまちが港で栄えた歴史（舟運、王子製紙）、外輪船の仕組み
- 4.洪水を防ぐための対策（捷水路、遊水地、ダム、排水機場）を模型で学ぶ

【参加者からのアンケート】

◇弁天丸での学習はどうでしたか

- ・弁天丸は3回目の参加だったが、自然がみれてよかった。 ・楽しかった。
- ・デッキでたくさんのことを見つられて面白かった。 ・船に初めて乗ったから、楽しかった。
- ・外でつばめの巣がみれてよかった。 ・ちょっと寒かったけど、いろいろなことを学べて楽しかった。
- ・弁天丸は、風が強かったけど、クイズなどがあって楽しかった。

◇川やダムのお話など、自然環境学習はどうでしたか

- 色々なことがわかった。 • すごく川やダムの事がわかった。 • 3回目の参加だったが、とてもよくダムの事や洪水になってしまうことなどがわかった。 • 石狩川が日本で3位だとは思わなかった。
- とても楽しかった。 • ダムは川の水を減らす役目がある事がわかった。
- 実験などが出来たので、楽しかった。 • どうゆうふうに洪水がおきるのか、わかった。
- 学校で習ったことで、知っていたこともあったし、知らなかったこともあって、わかりやすい説明をしてくれたので、よかった。 • 災害や天災が起きないように、工夫しているのがわかった。

◇特に印象に残ったことは何ですか

- 弁天丸に乗って、自然がみれたこと。• 弁天丸が結構すごい速さで進んでいて、水しぶきがすごかったこと。
- つばめの親が子育てをするつばめの巣がみれて、うれしかった。 • 弁天丸にはじめてのったこと。
- 弁天丸のエンジン室が見れたこと。 • 防災センターの屋上に行ったこと。川を上から見れたので、ボートに乗った時とちがう風景が見れた。 • しょうどうつばめの巣
- 昭和56年に、堤防のおかげで、江別の町が水浸しにならずにすんだことがわかりました。

【実施状況写真】



開会式でスケジュール確認



堤防の役割について説明



ショウドウツバメも見えました



デッキの下はどうなっているんだろう？



洪水の歴史をわかりやすく解説



真剣に話を聞く参加者